

「ロッキン」おかせり前夜祭

国営ひたち海浜公園（ひたちなか市）で5年ぶりの開催となる音楽フェス「ロッキン・イン・ジャパン・フェスティバル」（ロッキン）が14日に始まる。ひたちなか商工会議所は13日、独自企画の前夜祭「おかせりなさいフェス」を勝田駅近くで開催する。ロッキン来場者を歓迎し、にぎわいを盛り上げるのが狙いだ。前夜祭は入場無料。会場は

きょう 勝田駅近く

「市営勝田駅東口南駐車場」2Fで、午後4～9時。ひたちなか市出身のミュージシャン「イカルス渡辺」さんや、水戸市出身のシンガー・ソングライター福島清香さんのほか、地元で活動する社会人バンドが生演奏を行う。ご当地グルメ「那珂湊焼きそば」やキッチンカーの出店もある。ロッキンは国営ひたち海浜公園で長年開催されていた

5年ぶり ひたちなか開催

が、2020、21年はコロナ禍で中止になり、22年以降は会場を千葉市内に移していた。今年は千葉市内と国営ひたち海浜公園の両会場で開くことになり、同公園では14、15日、21～23日の計5日間開催される。

ひたちなか商工会議所の担当者は「ロッキンをひたちなかでまた毎年開催してほしいという願いも込め、前夜祭で盛り上げていきたい」と話している。問い合わせは同商議所（029・273・1337）へ。



作品が展示された寺田さん（左ら）11日、筑西市のファミリーマート下館八丁台店で

障害者の絵画 ファミマで展示

県西6店福祉への関心広げる

障害のある人が描いた絵画を展示する「ファミマギャラリー」が県西地区のファミリーマート6店で始まった。イトインスペースに飾り、障害者福祉への関心を広げることが狙い。

6店は、下館八丁台店、筑西横塚店、筑西布川店、下妻バイパス店、下妻南原店、結城ふじみ店。

作品を描いたのは、社会福祉法人征峯会の運営する指定障害者支援施設「ピアしらとり」（筑西市小境）の入所者。色鉛筆、クレヨン、水彩絵の具などを使っ

て描いてパネルにした。則1店舗につき作者1人「個展」とすることで、展示空間に統一感を持たせた。

下館八丁台店には、鮮やかな色彩の寺田和也さん作品7点が展示されている。初日の11日には、寺田さんら入所者3人が訪れ、展示を喜んでいった。ファミリーマートの担当者は、「つくりたい気持ちになっもらえらと思う。取り組は今後も広げていきたい」と話している。

「ファミマギャラリー」の展示は、10月4日まで